

08 森林土壌デジタルマップの活用



WebA°-ジ°

技術のポイント

日本全国の林地生産力の把握を目的に、戦後～1980年代に詳細な土壌図が作成されました。これをデジタル化して様々な機能の評価に活用するため、現存する約900の土壌図を統合し、自由に拡大縮小して閲覧できるウェブページを開発・公開しました。これには土砂災害リスク評価に役立つCS立体図や、気候変動に関わる土壌炭素蓄積マップも含まれており、日本の森林における土壌・地形情報のプラットフォームとして今後の発展が期待されます。

連携・橋渡しの方向

インターネットが接続できれば誰でも簡単に閲覧できます。また地図データは公開されており、web開発者や研究者が自由に直接取り込んで利用でき、防災、森林管理や環境教育等、様々な用途への展開が期待できます。

詳細情報

- ・プレスリリース：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2022/20220928/>
- ・森林土壌デジタルマップは下記のページで公開しています。
<https://www2.ffpri.go.jp/soilmap/>

日本全国の土壌図、CS立体図については外部の成果物であり、許可を得て掲載しています。土壌炭素の地図は林野庁委託事業で得られた成果を元に作成されています。詳細はページ内の「利用規約」「データ典拠」をご覧ください。

担当者

立地環境研究領域・山下尚之



図1 森林土壌デジタルマップの表示例

特別なソフトウェアを必要とせず、使い慣れたブラウザ上で表示できます。①スマートフォン上での屋久島の土壌図と土壌調査地点(赤丸)の表示、②土壌図の3D表示、③土壌調査地点の詳細情報、④中禅寺湖周辺の土壌炭素地図。背景には地理院タイルを利用。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>